

バスタの希釈目安

多年生雑草には
100~150倍

10アール(1反歩)あたり

バスタ2本(1,000ml)※

+

水100~150ℓ

※500mlボトルの場合



一年生雑草には
200倍

10アール(1反歩)あたり

バスタ1本(500ml)※

+

水100ℓ

※500mlボトルの場合



*詳しい希釈倍数とバスタの使用量についてはP4(Q2)をご覧ください。

注意事項

- 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきって下さい。
- 本剤は土壌に落下すると速やかに不活性化し、効果を発現しないので薬液が雑草の茎葉全体に均一にかかるように散布して下さい。また、雑草が大きくなりすぎると効果が低下しますので時期を失ないように散布して下さい。
- 散布後6時間以内の降雨は効果を減じることがありますので、天候をよく見極めてから散布して下さい。
- 植物に薬液が付着すると薬害が生じますので、散布液が付近の農作物、樹木の茎葉に飛散しないよう散布して下さい。とくに、野菜類の生育期畦間散布や水田畦畔で使用の場合は作物にかからないように十分注意して散布して下さい。
- 芝に散布する場合、生育中の芝には薬害を生じますので使用しないで下さい。また、芝の休眠直後や萌芽期に近くなってからの散布では萌芽抑制などの薬害を生じることがありますので、芝が完全に休眠している時期に散布して下さい。
- だいの畦間、株間処理に使用する場合は、噴口はできるだけ低くして、本葉にかからないように散布して下さい。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。
- 水源池等に本剤が飛散・流入しないように十分に注意して下さい。
- 散布器具、容器等の洗浄水は河川等に流さず、空容器は圃場などに放置せず、環境に影響を与えないよう適切に処理して下さい。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。
- 蚕に対して影響がありますので、周辺の桑葉にはかからないようにして下さい。
- 誤飲などのないように注意して下さい。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせて下さい。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けて下さい。
- 本剤による中毒の治療法としては、動物実験でフェノバルビタール製剤の投与が有効であると報告されています。
- 本剤は眼に対して刺激性がありますので眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。
- 本剤は皮膚に対して刺激性がありますので皮膚に付着しないよう注意して下さい。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落として下さい。
- 散布液調製時および散布の際は防護マスク、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣などを着用して下さい。また散布液を吸い込んだり、浴びたりしないように注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼して下さい。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中および散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払って下さい。



詳細やSDSはWEBで
ご覧いただけます。



BASF
アグロソリューション
Facebook

BASFジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号
OVOL日本橋ビル3階
☎0120-014-660

<https://crop-protection.basf.co.jp/>



BASFジャパン
HP

- 使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。●防除日誌を記帳しましょう。

大切な作物のそばに。

バスタ®

Q&A ブック



BASF
We create chemistry



バスタを安心して使っていただくために。

畑の中で使える「安心」。多くの作物に登録がある「信頼」。
雑草をしっかりと枯らせる「自信」。それが、茎葉処理型除草剤バスタです。

本冊子では、「バスタってどんな除草剤なの?」という基本的な疑問から、「あれ? こんな時はどうすればいいの?」といった質問まで。皆さまから、よくお問い合わせをいただく疑問や質問に、カテゴリ別にお答えしてまいります。

バスタ液剤の特長



多くの作物に登録がある

バスタ液剤は「非選択性」の茎葉処理除草剤の中でも多くの作物に登録があり、適用範囲が広く、さまざまな場面でご使用いただけます。



作物、人畜、環境にやさしい

作物、人、自然環境にやさしく、安全性の高さに配慮した除草剤です。



殺草スペクトラムが広い

スギナやツユクサ、マルバツユクサなど手強い雑草をはじめ、防除が困難な「問題雑草」に対しても効果的に作用します。



効果の発現が速い

速効性も大きな特長の一つです。処理後の効果の発現が速く、完成も早い接触型除草剤です。



抑草期間が長い

散布後長期間、雑草の発生を抑えます。
(次の除草が必要になるまでの期間は40~50日)

Q:基本的な質問について

P4

- 1.バスタはどんな除草剤ですか?
- 2.何倍に希釈したらいいですか?
- 3.他の除草剤と比較してどこが違いますか?
- 4.どのようなメカニズムで雑草を枯らすのですか?
- 5.“バスタ”とはどのような意味ですか?
- 6.どんな作物に使えますか?
- 7.除草剤を使用しなくても草刈り機で十分ではないですか?

Q:効果について

P6

- 8.どんな種類の雑草に効果がありますか?
- 9.根まで枯らしますか?
- 10.散布の後から生えてくる雑草も抑えますか?
- 11.すぐに枯れますか? 長く効きますか?
- 12.散布後に雨が降っても大丈夫ですか?
- 13.雨露や朝露があるときに散布しても大丈夫ですか?
- 14.草丈1mぐらいいった雑草でも枯らせれますか?
- 15.汚れた雑草にも効果はありますか?

Q:雑草対策について

P8

- 16.スギナには何倍で散布するのがいいですか?
- 17.スギナを上手に防除するポイントは何ですか?
- 18.マルバツユクサの防除のポイントは何ですか?
- 19.ツユクサの防除のポイントは何ですか?
- 20.除草剤をまいても、残ってしまう雑草があります。バスタなら枯れますか?
- 21.ギンギシが増えて困っています…
- 22.チガヤを枯らせれますか?
- 23.ハルジオンで困っています…

Q:作物・生物への影響について

P10

- 24.薬剤が土に残りませんか?
- 25.水田のあぜや水路わき、池周りなどに散布した場合、魚などに影響はありませんか?
- 26.ミツバチに影響はありませんか?
- 27.野菜畑の畦間で使用しても安全ですか?
- 28.散布後、何日経てば、は種・定植して大丈夫ですか?
- 29.ハウス内で散布して作物に影響が出ませんか?

Q:上手な使い方について

P12

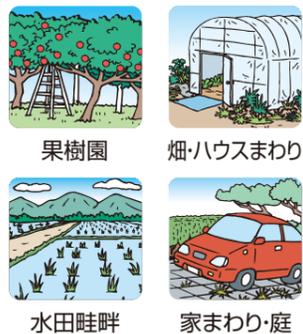
- 30.散布の際、特別な器具が必要ですか? 少量散布用ノズルで散布しても大丈夫ですか?
- 31.散布の際に注意することは何ですか?
- 32.ジョウロでも散布できますか?
- 33.水田のあぜや傾斜地の土崩れは大丈夫ですか?
- 34.散布するとき、天気は関係ありますか?
- 35.散布する時刻によって、効果に差が出ますか?
- 36.希釈する水で効果に違いはありますか?
- 37.秋処理は、いつ頃の散布がよいですか?
- 38.雑草の生え方によって使用薬量、水量は違ってきますか?
- 39.希釈した散布液はそのまま置いた後でも使えますか?
- 40.展着剤を加える必要がありますか?
- 41.土壌処理型の除草剤を混用できますか?
- 42.樹木等の幹にかかっても大丈夫ですか?
- 43.住宅地等で使用する場合、注意することはありますか?
- 44.散布してから、子どもやペットは何日後に立ち入っても大丈夫ですか?

・バスタの有効成分および化学的、物理的性質・バスタが枯らせる代表的な雑草 …… P16

・バスタの希釈目安・注意事項 …… P18

Q1 バスタはどんな除草剤ですか？

A: バスタは、雑草に散布(莖葉処理)すると、そのすべてを枯らすタイプ(非選択性)の除草剤です。果樹園や野菜畑、水田畦畔、農道、家のまわり、庭など、登録記載範囲内のいろいろな場所での雑草防除に使えます。



Q2 何倍に希釈したらいいですか？

A: バスタを使用できる量は、作物ごとに決められています。ラベルをよく読んで使用してください。希釈倍率は下の表を参照してください(基本的に、多年生雑草には100~150倍、一年生雑草には200倍とお考えください)。

■ 希釈倍数とバスタの使用量

基本使用薬量: ■ 多年生雑草 ■ 一年生雑草

希釈倍率	水 量							
	1ℓ	5ℓ	10ℓ	15ℓ	20ℓ	100ℓ	150ℓ	200ℓ
100倍	10mℓ	50mℓ	100mℓ	150mℓ	200mℓ	1,000mℓ	1,500mℓ	2,000mℓ
150倍	7mℓ	34mℓ	67mℓ	100mℓ	133mℓ	667mℓ	1,000mℓ	1,333mℓ
200倍	5mℓ	25mℓ	50mℓ	75mℓ	100mℓ	500mℓ	750mℓ	1,000mℓ

例えば

100~150倍の場合
(多年生雑草)

10アール(1反歩)あたり

バスタ2本(1,000mℓ)※

+

水100~150ℓ



※500mℓ
ボトル
の場合

例えば

200倍の場合
(一年生雑草)

10アール(1反歩)あたり

バスタ1本(500mℓ)※

+

水100ℓ



※500mℓ
ボトル
の場合

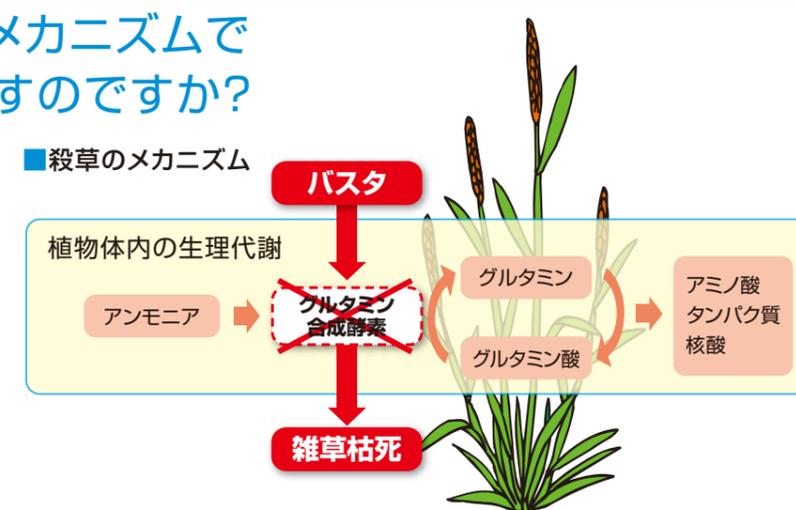
Q3 他の除草剤と比較してどこが違いますか？

A: バスタは、速く効き、長く雑草の発生を抑える安全性の高い除草剤です。また、殺草スペクトラムが広く、スギナなどの問題雑草にもよく効きます。さらに、登録作物も数多くありますので、使い勝手の良い除草剤です。

Q4 どのようなメカニズムで雑草を枯らすのですか？

A: 有効成分が植物体内でグルタミン合成酵素の活性を阻害することで、アンモニアが植物体内に異常蓄積し、生理代謝を阻害することや、光合成が阻害されることによって雑草を枯死させます。

■ 殺草のメカニズム



Q5 “バスタ”とはどのような意味ですか？

A: スペイン語やイタリア語で「これ以上討論の余地はない」「これが最終決定だ」という意味や、「もう十分満腹だ」という意味があります。このため、「雑草防除の決定版だ」との意味でバスタと命名しました。



Q6 どんな作物に使えますか？

A: 現在80作物以上に登録があり、その登録作物には安心してお使いいただけます。

バスタの詳しい登録内容
(適用表)はこちらへ



Q7 除草剤を使用しなくても、草刈り機で十分ではないですか？



A: 刃物を高速回転させる草刈り機は、重くて危険が伴います。特に、急な斜面や法面での作業は転倒の恐れも。これに対し除草剤散布は、作業時間が短縮できる上に、除草回数も減らす事ができます。10アールあたりの草刈り作業が約50分なのに対して、除草剤散布は約26分という結果が出ています(日本植物調節剤研究協会調査より)。バスタなら安全かつ除草時間も短縮でき、省力的です。

Q8 どんな種類の雑草に効果がありますか？

A: 一年生・多年生はもちろん、生育中のものならば、種類に関係なくほとんどすべての雑草に効きます（非選択性）。頑固なスギナやツユクサなどにも高い効果を示します。



スギナ



ツユクサ

Q9 根まで枯らしますか？

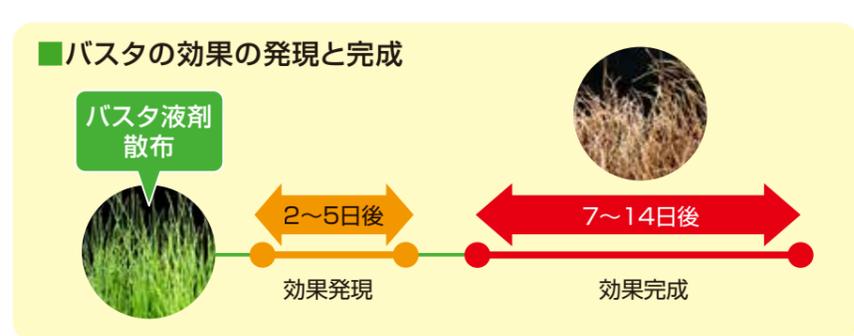
A: バスタは薬剤がかかった茎葉部は枯らしますが、地下の根は枯らしません。一年生雑草は地上部が完全に枯れると根から再生することはありません。多年生雑草は地下に蓄えた養分で再生する場合があります。

Q10 散布の後から生えてくる雑草も抑えますか？

A: 抑えません。バスタは生えている雑草を枯らす除草剤です。そのため、散布の後に土中の種子から生えてくる雑草には効果がありません。

Q11 すぐに枯れますか？ 長く効きますか？

A: 通常、散布後2～5日で効果が現れ、7～14日後には枯れあがります*。その後、長期間にわたって雑草の再生を抑えます。一般に抑草期間は40～50日です。



※晩秋～早春のような温度の低い時期の散布では効果の発現が遅れますが、最終的には十分な効果が得られます。低温期の散布では、10日前後で効果が現れ、枯れあがるには20～30日ぐらいかかることもありますが、最終的な効果は変わりません。

Q12 散布後に雨が降っても大丈夫ですか？

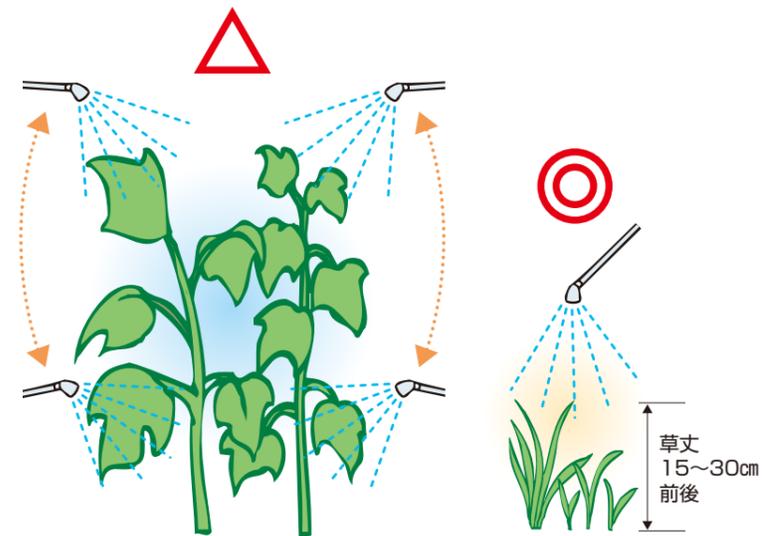
A: 散布後6時間を経過していれば大丈夫です。ただし少雨の場合は、散布1時間後の降雨でも、効果にほとんど影響がなかった事例もあります。

Q13 雨露や朝露があるときに散布しても大丈夫ですか？

A: 少量の露なら効果に問題はありません。多量の場合は、しばらくして乾いてからの散布をおすすめします。

Q14 草丈1mぐらいになった雑草でも枯らせますか？

A: バスタは、雑草の大きさに関係なく優れた効果を示します。しかし雑草が大きく伸び過ぎていると、雑草全体が十分に濡れるように散布するための散布液・薬量が、多量に必要となります。また、散布作業も大変ですので、草丈の低い時（15～30cm前後）に散布した方が効率的かつ経済的です。



Q15 汚れた雑草にも効果はありますか？

A: 草の表面が汚れている場合は、薬液が茎葉面に到達しにくくなるため、除草効果が低減します。土ぼこりなどの汚れの付着が多い場合は、土ぼこりが十分に湿り、茎葉面まで薬液が達するように散布してください。

Q16 スギナには何倍で散布するのがいいですか？

A: バスタなら、100倍液の散布でしつこいスギナも他の雑草も、枯らすことができますので経済的です。

Q17 スギナを上手に防除するポイントは何ですか？

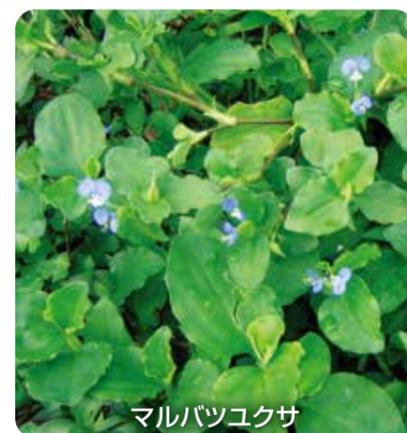
A: 春先、スギナが出そろったら(草丈20~30cm)、なるべく早く散布してください。再生が見られたらもう一度散布してください。繰り返し散布することが大切です。茎までたっぷりかけることもポイントのひとつです。スギナは地上茎が地下茎に光合成で得た栄養を送っています。地上茎を枯らして地下茎を弱らせ、増殖を抑えるのです。



スギナ

Q18 マルバツユクサの防除のポイントは何ですか？

A: 出芽から開花までの時間が短いので、開花前の早い時期の散布が効果的です。5~7月の防除では、土壌処理剤との併用がより効果的です。土壌中の種子の寿命が長いため、根気よく毎年防除することが大切です。花が咲く前、種子を作る前に防除することがポイントです。



マルバツユクサ

Q19 ツユクサの防除のポイントは何ですか？

A: 種子の寿命が長く、土中深くから長期間にわたって発生するので、根気よく防除する必要があります。4~6月の防除では、土壌処理剤との併用がより効果的です。



ツユクサ

Q20 除草剤をまいても、残ってしまう雑草(オヒシバ、オオアレチノギク)があります。バスタなら枯れますか？

A: バスタなら100~200倍液の散布で枯らすことができます。



オヒシバ



オオアレチノギク

Q21 ギシギシが増えて困っています…

A: 100~150倍液の散布で地上部を完全に枯らすことができます。ギシギシの花茎が出始めるころ(5~7月)に散布すると、再生を長期間抑えられます。株の基部にも十分かかるように散布しましょう。その後再生が見られるようなら、もう一度散布してください。



ギシギシ

Q22 チガヤを枯らせますか？

A: 100倍液の散布で地上部を完全に枯らすことができます。茎葉が出揃った時期の散布で再生を長期間抑えられます。



チガヤ

Q23 ハルジオンで困っています…

A: 100~200倍液の散布で地上部を完全に枯らすことができます。その後再生が見られるようなら、もう一度散布してください。

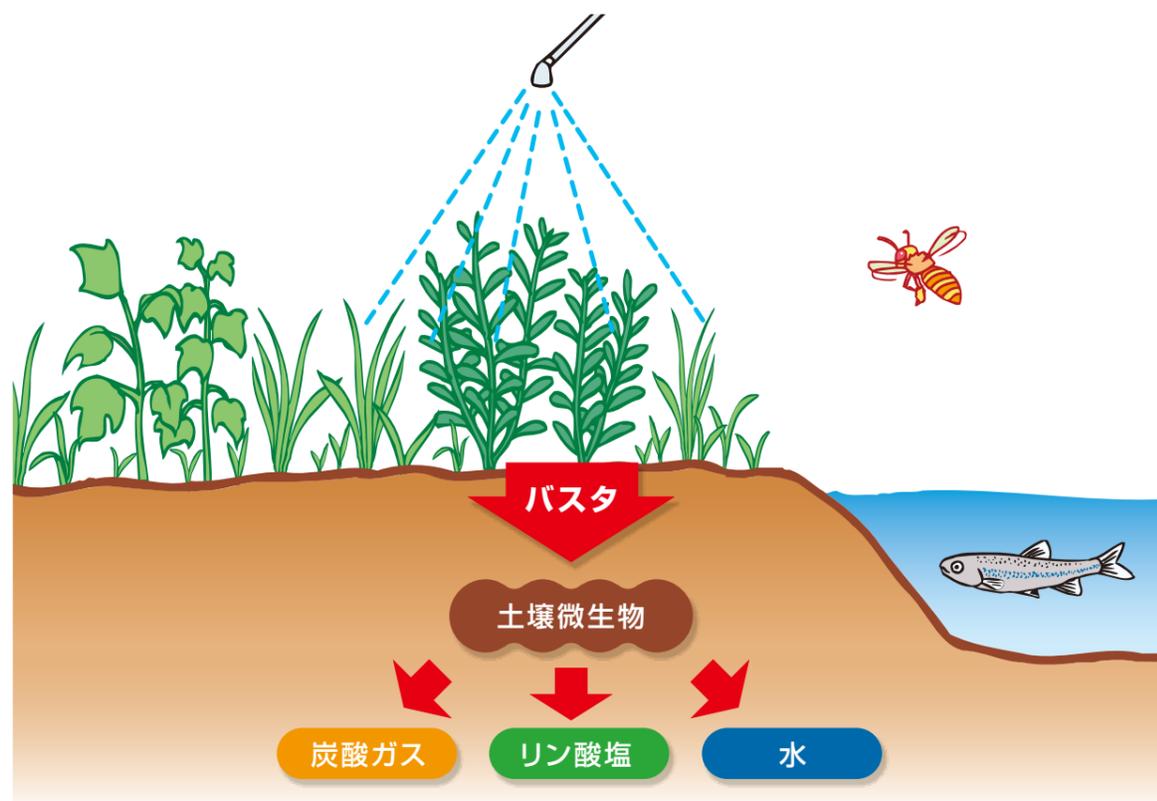


ハルジオン

Q24 薬剤が土に残りませんか？

A: 土壌中で土壌微生物により速やかに炭酸ガスやリン酸塩、水に分解されるため、成分は土に残りません。また、普通物^{*}のため取扱いが簡単で、作物や人畜、環境にやさしい除草剤です。

*普通物：毒劇物に該当しないものを指している通称



微生物が速やかに分解!

Q25 水田のあぜや用水路わき、池周りなどに散布した場合、魚などに影響はありますか？

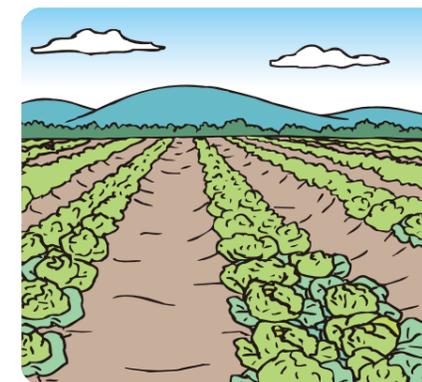
A: 散布の際は、薬液が河川等に直接流入しないように注意してください。土壌に落下した成分は速やかに吸着・分解されます。

Q26 ミツバチに影響はありますか？

A: パスタは、ミツバチに対する影響が少ないことが確認されています。

Q27 野菜畑の畦間で使用しても安全ですか？

A: 登録のある作物では、安心してご使用いただけます。畦間に使用する場合は、薬液が作物に飛散しないように注意して散布してください。作物に飛散すると薬害が出ます。また、土壌を介しての薬害は心配ありません。



Q28 散布後、何日経てば、は種・定植をして大丈夫ですか？

A: 通常の土壌では、散布後すぐには種・定植をしても問題ありません。ただし、砂質土壌や微生物が少ない土壌の場合は薬害が出る可能性があるため、5日ほど経ってから作業をおこなってください。

Q29 ハウス内で散布して作物に影響が出ませんか？

A: 薬液が飛散した場合を除いて、作物の生育に影響を及ぼすことはありません。有効成分は蒸気圧が低いので、閉鎖されたハウス内でもガス化して作物に影響を及ぼす心配はありません。



Q30 散布の際、特別な器具(ノズル)が必要ですか？ 少量散布用ノズルで散布しても大丈夫ですか？

A: 雑草全体にムラなく散布できるノズルを使用してください。除草剤用キリナシノズルがおすすめです(バスタ専用ノズルもあります)。少量散布用ノズルでは、散布ムラを生じることがあるので注意してください。



少量散布ノズル
散布にムラが出てしまう。



キリナシノズル
雑草全体にしっかり散布できる。



バスタ専用ノズル

Q31 散布の際に注意することは何ですか？

A: 作物に飛散すると薬害を生じますので、次のことに注意してください。

1. 噴霧器の圧力を低めにする。
2. 風のない時、弱い時に散布する。
3. ノズルを上向きにしない。
4. 飛散防止カバーをし、できるだけ飛散の少ないノズルを使用する。



Q32 ジョウロでも散布できますか？

A: 可能です。ジョウロ散布はドリフトの心配も少なく、手軽に散布できます。なるべく除草剤散布用のものや目の細かなものを使ってください。散布ムラが生じないように一気に吐き出ししない蓮口を使用して、左右に振りながら丁寧に散布してください。散布液がポタポタ落ちるようでは不経済です。ガムテープなどで、蓮口の両脇をマスキングするのも効果的です(写真参照)。



Q33 水田のあぜや傾斜地の土崩れは大丈夫ですか？

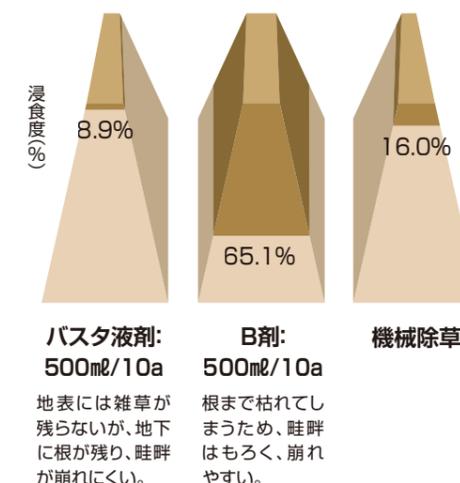
A: 雑草の根まで枯らさないで、機械除草と同じくらい、畦畔強度を維持することができます。

■畦畔のモデルを用いた降雨による崩れ

【試験方法】 人工的に作った畦畔、のり面(図参照)にメヒシバを播種・栽培し、バスタ液剤、吸収移行型B剤および機械による除草後、28日後に人工降雨し、モデル表面の浸食度・浸食率を比較した。

降雨量:50mm/降雨時間:200時間、水滴サイズ:1.8mm、高さ:2mより降雨

【考察】 人工畦畔、人工のり面のいずれにおいても、バスタ液剤区の浸食レベルはB剤区と比べて低く、機械除草区と同等であった。(ヘキスト・シェーリング・アグレボ 農業科学技術センター/1993年)



Q34 散布するとき、天気は関係ありますか？

A: 曇天下でも十分に効果を発揮しますが、好天の時に散布すると一層効果的です。また、風が強いと飛散する危険性が増しますので、風のない穏やかな日の散布をおすすめします。

Q35 散布する時刻によって、効果に差が出ますか？

A: 朝、昼、夜の時刻によって効果に差が出ることはありません。

Q36 希釈する水で効果に違いはありますか？

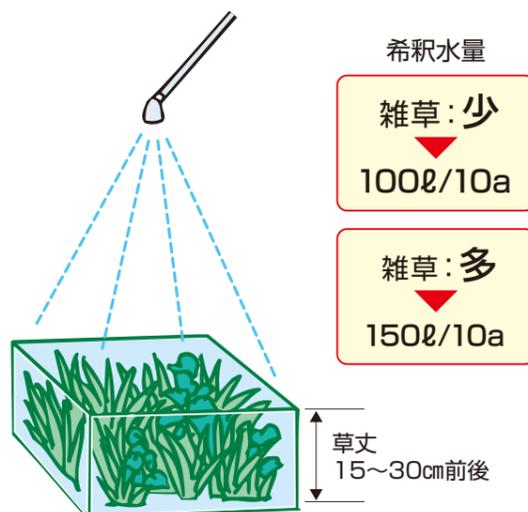
A: 通常の農業散布に用いる水であれば、除草効果に大きな影響はありません。

Q37 秋処理は、いつ頃の散布がよいですか？

A: 10~12月に散布することで、翌春の雑草発生を遅らせる効果が期待できます。果樹園では、落葉すると雑草に薬液がかかりにくくなってしまふ恐れがあるので、落葉前に散布してください。

Q38 雑草の生え方によって使用薬量、水量は違ってきますか？

A:違ってきます。雑草の生え方や量によって使用薬量と希釈水量を使い分けてください(薬量、水量の目安は裏表紙の[希釈目安]をご覧ください)。水量は、雑草が少ないときは100ℓ、多いときは150ℓが目安です。草丈15～30cm前後で地面が見え隠れする程度のときに適当な水量だと考えてください。また、雑草が若い時期に除草するほうが、効率的かつ経済的です。



Q39 希釈した散布液はそのまま置いた後でも使えますか？

A:数日間置いても効果に影響はしませんが、必ず早めに散布してください。やむを得ず置いておく場合には、土ぼこりやゴミ、雨水が入らないようにし、また子供がイタズラしないよう、特に注意してください。

Q40 展着剤を加える必要がありますか？

A:必要ありません。すでに必要量の展着剤が入っています。

Q41 土壌処理型の除草剤を混用できますか？

A:バスタは、ほとんどの土壌処理型除草剤と混用できます。光合成阻害型除草剤との混用によってバスタの効果の発現が遅れることがありますが、最終的な効果は変わりません。

Q42 樹木等の幹にかかっても大丈夫ですか？

A:作物(樹木類含む)にはかからないように注意して散布してください。万一かかった場合でも、木質化した幹からは吸収されないため影響はありません。ただし、幹が緑の若い木の場合や、地表に細根が露出している場合は影響が出る可能性があります。

Q43 住宅地等で使用する場合、注意することはありますか？

A:トラブルを回避するため、事前に近隣に散布日時を説明しておくことが望ましいです。風向きや風速に注意して薬液が飛散しないように散布してください。

Q44 散布してから、子どもやペットは何日後に立ち入っても大丈夫ですか？

A:散布中および散布後(少なくとも散布当日)に、子供や散布に関係のない人、ペットが散布区域に立ち入らないように、縄囲いや立て札を立てるなどしてください。そのような場所では大人や飼い主が注意を払ってください。



■ バスタの有効成分および化学的、物理的性質

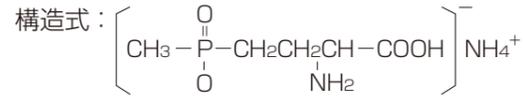
1. 名称および化学構造

商品名：バスタ液剤（登録番号 第20958号）

試験名：Hoe 866

一般名(有効成分)：グルホシネート……………18.5%

化学名：アンモニウム=DL-ホモアラニン-4-イル(メチル)ホスフィナート



有効成分含有量：18.5%

2. 物理化学的性質

【有効成分】

性状：白色結晶粉末

融点：215℃で熱分解

蒸気圧： 3.1×10^{-5} Pa(50℃)以下

水溶解度：500g/l以上(20℃)

【製剤】

性状：青緑色澄明水溶性液体

● 普通物

(普通物・毒物・劇物に該当しないものを指している通称)

除草剤分類 10

■ バスタが枯らせる代表的な雑草

一年生植物 多年生植物 越 越年生植物



多 スギナ

バスタ
推奨倍率
100倍



多 イヌスギナ

バスタ
推奨倍率
100倍



多 ツユクサ

バスタ
推奨倍率
200倍



多 オヒシバ

バスタ
推奨倍率
200倍



多 キシウスズメノヒエ

バスタ
推奨倍率
100倍



多 ハルジオン

バスタ
推奨倍率
200倍



多 マルバツユクサ

バスタ
推奨倍率
200倍



多 アメリカアサガオ

バスタ
推奨倍率
200倍



多 イチビ

バスタ
推奨倍率
200倍



越 ヒメムカシヨモギ

バスタ
推奨倍率
200倍



越 オオアレチノギク

バスタ
推奨倍率
200倍



多 イヌホオズキ

バスタ
推奨倍率
200倍



多 イボクサ

バスタ
推奨倍率
200倍



多 クサネム

バスタ
推奨倍率
200倍



多 アメリカフウロ

バスタ
推奨倍率
200倍



越 ヒメオドリコソウ

バスタ
推奨倍率
200倍



多 オオオナモミ

バスタ
推奨倍率
200倍



多 ヤブガラシ

バスタ
推奨倍率
100倍